

# ふくおかフィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会

2017年 夏



ブランドキャラクター  
『ユーモ』

あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ

(東証第1部・福証上場 証券コード：8354)

# 目次

	ページ
1. ふくおかフィナンシャルグループの概要	P. 3-6
2. FFGの成長戦略	P. 8-18
3. 業績予想・配当方針	P.20-27
4. 参考資料	P.29-35





Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

## Part I

# ふくおかフィナンシャルグループの概要

# ふくおかフィナンシャルグループ（FFG）の会社概要

- ▶ 地元九州を代表する上場企業として、国内外の代表的な株式指標にも採用
- ▶ 「シングルプラットフォーム・マルチブランド」という当社特有の経営スタイルを展開

## ■ 会社概要

(2017年3月末現在)

本社	福岡県福岡市中央区大手門1-8-3
設立	2007年4月2日
資本金	1,247億円
従業員数	9,275名（うち嘱託・パート2,410名）
取締役	13名（うち社外取締役2名）
監査役	3名（うち社外監査役2名）
上場証券取引所	東証第1部、福証（証券コード：8354）
採用株価指標	日経225・MSCI など
時価総額	4,608億円（東証1部上場順位276位）

※時価総額は2017年7月12日時点

## ■ 格付情報

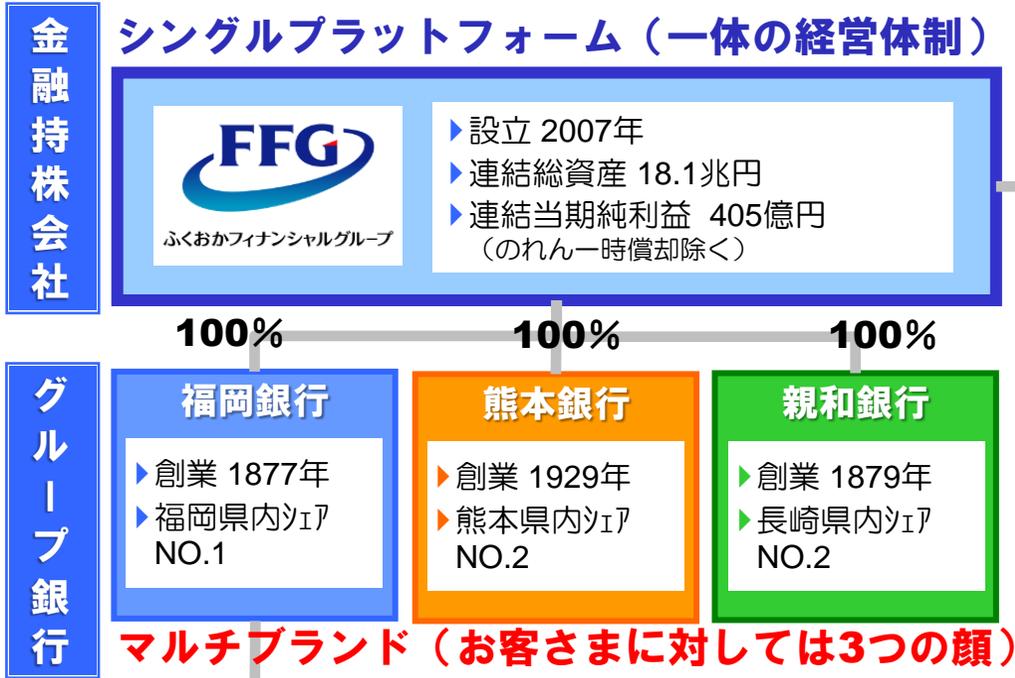
(2017年6月末現在)

	FFG	福岡	熊本	親和
R&I	A+	AA-	A+	A+
JCR	A	A+	A	A
Moody's	-	<b>A3</b>	-	-

※発行体格付、長期債務格付、長期預金格付

H29.6.6  
「Baa1」から格上げ

## ■ グループ経営体制

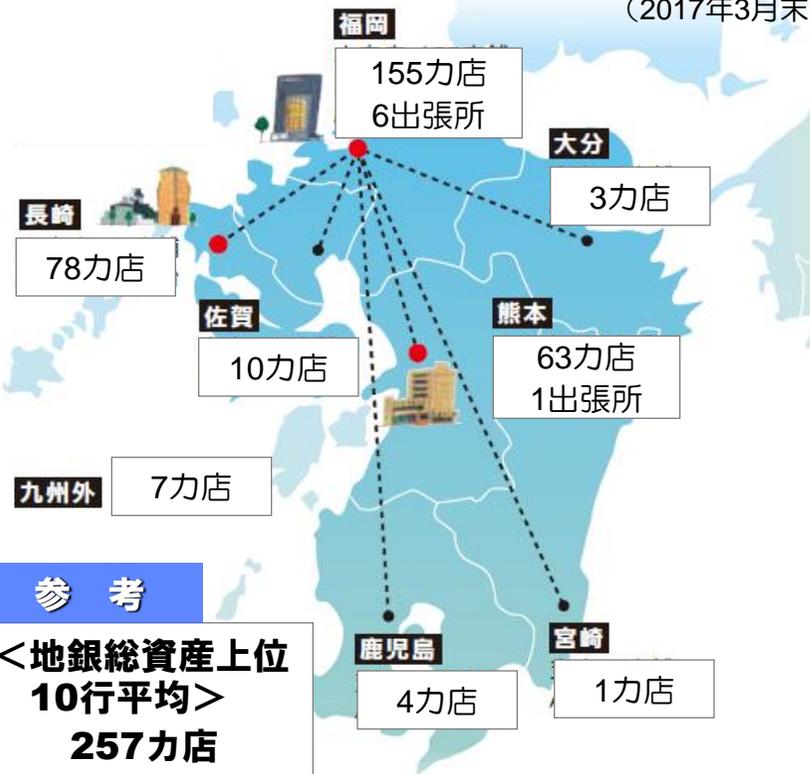


# グループネットワーク

- ▶ 国内では、九州を一つの経済圏として捉え、グループ3行の充実した店舗網を活かして広域展開
- ▶ 海外では、東アジアの主要都市やニューヨークに拠点を設け、お取引先の海外進出をサポート

## 国内店舗 328カ店

(2017年3月末)



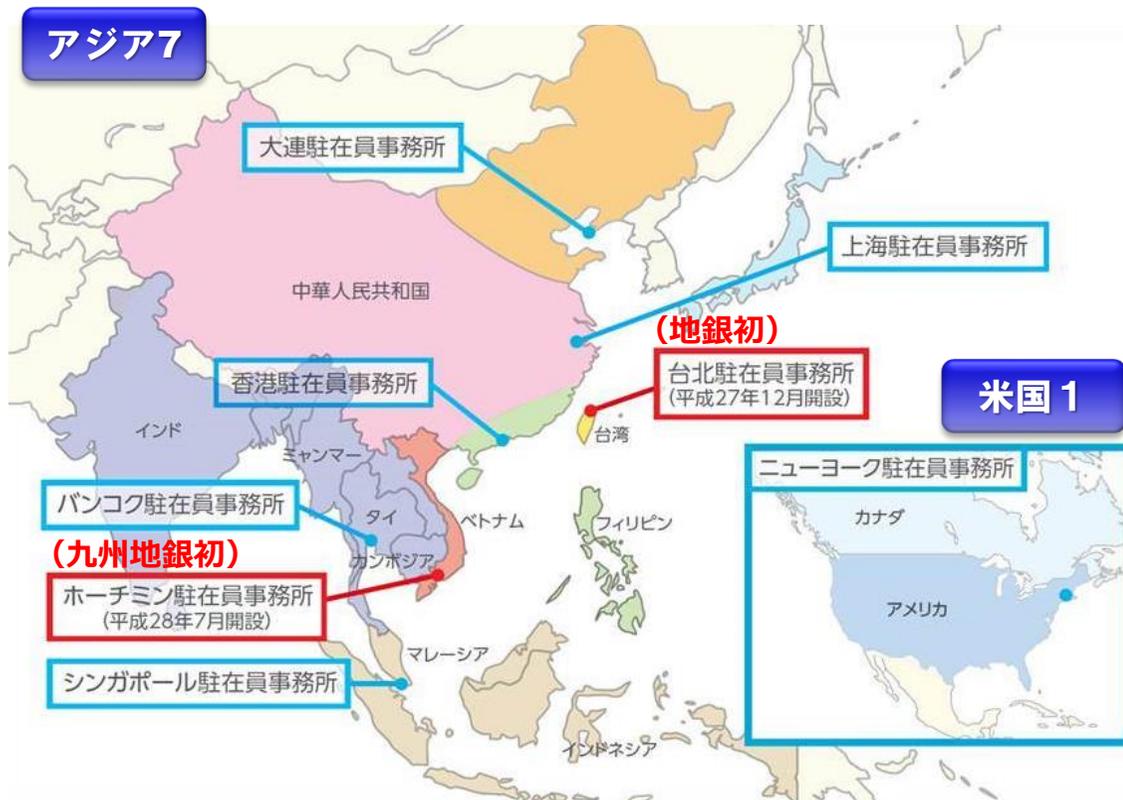
### 参考

<地銀総資産上位  
10行平均>  
257カ店

～ATM～

- ・ネットワーク 2,000台超
- ・グループ3行の通帳・キャッシュカード利用可

## 海外駐在員事務所 8拠点

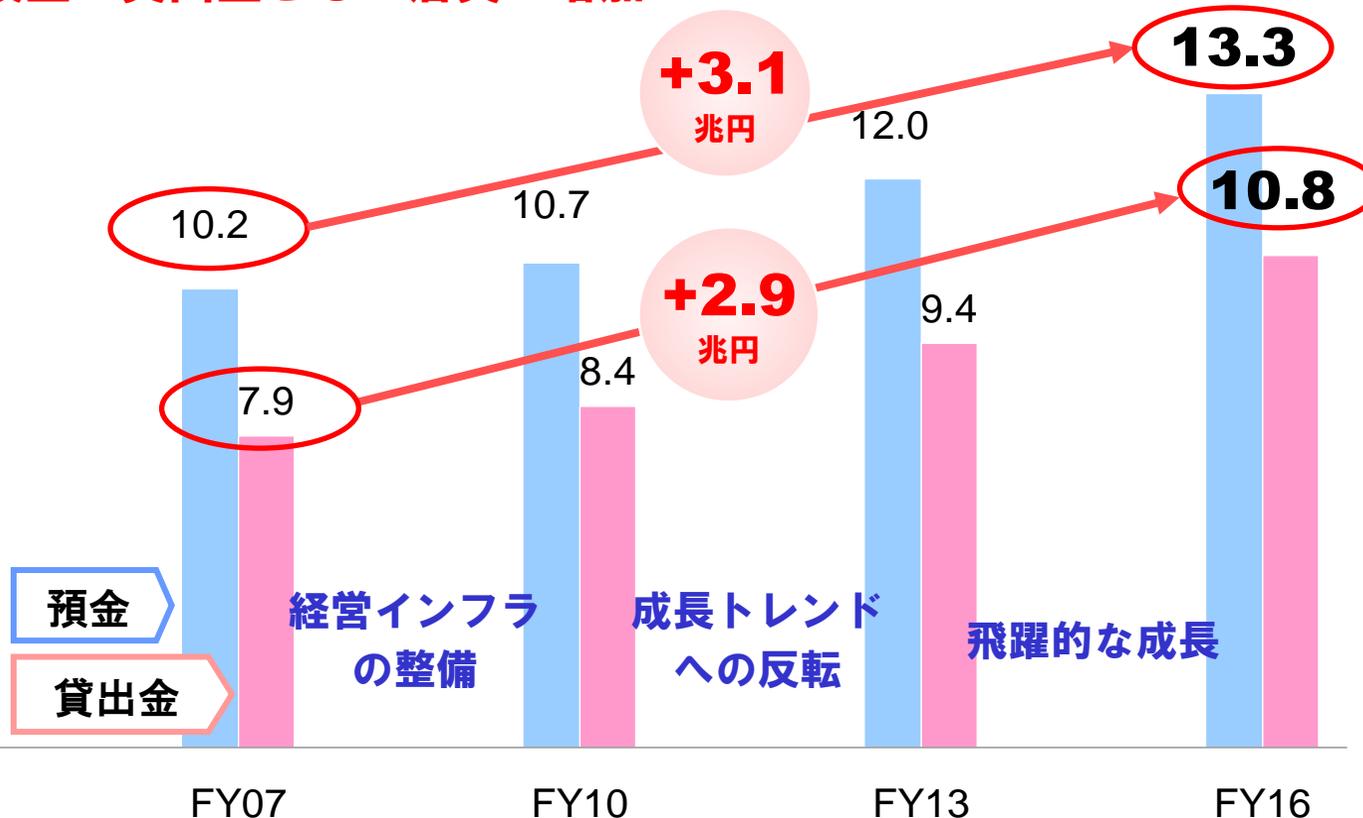


# これまで10年間の軌跡

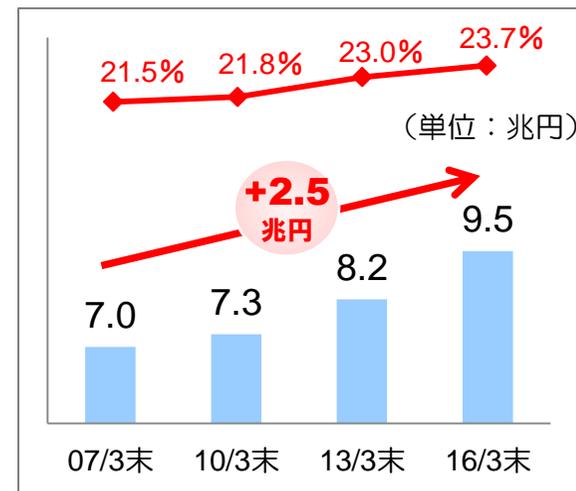
- ▶ 設立からの10年間で、業容・営業基盤の拡大をはじめとした着実な成長を実現
- ▶ 2016年からは、次の10年間を見据えた新たな「進化のステージ」がスタート

## 預金・貸出金の推移

預金・貸出金ともに着実に増加



## 九州域内貸出金シェア



## 営業基盤

事業法人 **22万先**  
 (うち融資取引先 6万先)

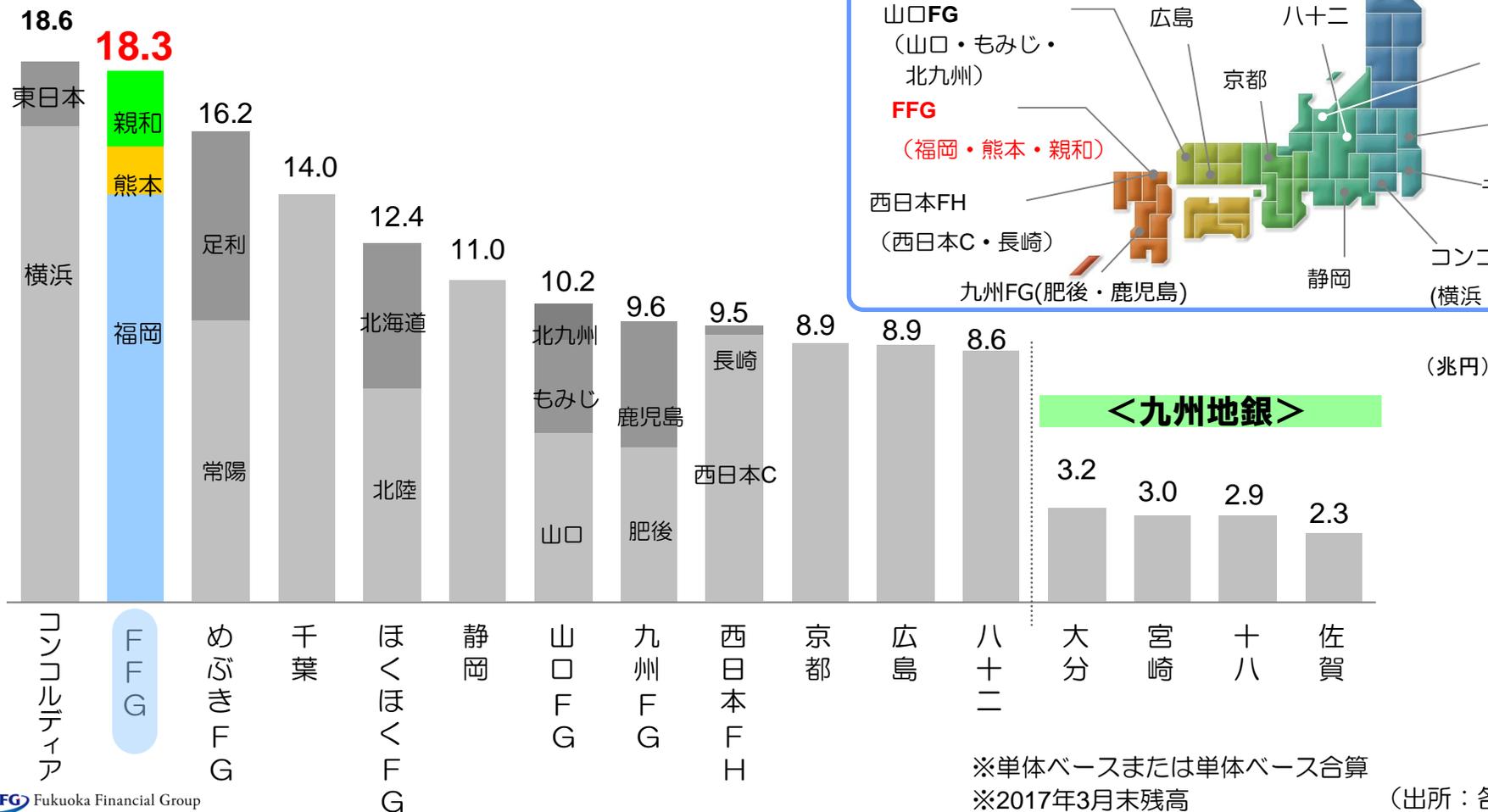
個人 **563万先**

\* 3行単体合算、平均残高、預金=預金+譲渡性預金 (NCD)

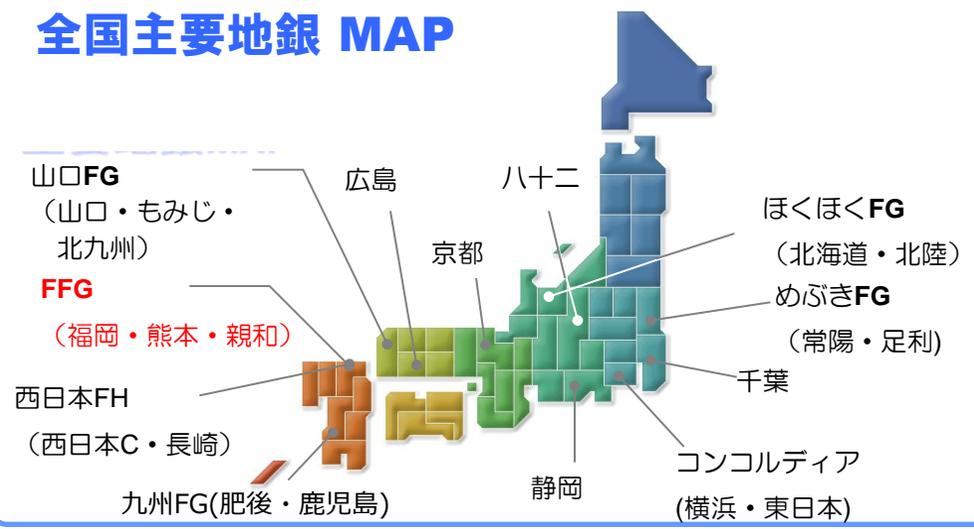
# 地方銀行の中での位置

▶ 2007年の経営統合から着実な成長を遂げ、地域金融グループではトップクラスに位置

総資産 18.3兆円



## 全国主要地銀 MAP



### <九州地銀>

※単体ベースまたは単体ベース合算  
※2017年3月末残高

(出所：各行決算短信)



Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

## Part II

# FFGの成長戦略

— 第5次中期経営計画 ～「ザ・ベスト リージョナルバンク」を目指して～

# 地元九州の経済状況

▶九州は大型開発プロジェクトや新たな成長の芽に加え、アジアを中心とする海外市場とのビジネスチャンスも大きく、将来の成長性を秘めた地域

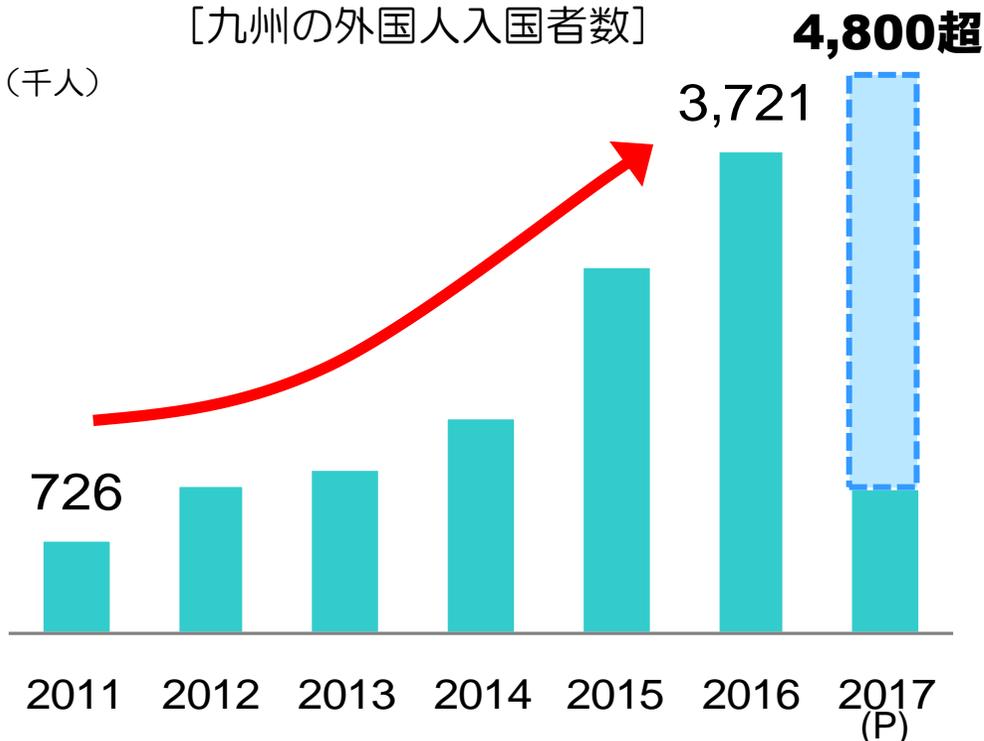
## インバウンド

外国人入国者数が370万人を超え、**5年連続で過去最高を更新**



[九州の外国人入国者数]

(千人)



## 大型開発プロジェクト

### ウォーターフロント地区



### 天神ビッグバン



### 福岡空港



## 新たな成長の芽

▶「国家戦略特区」  
(福岡市・北九州市)



スタートアップ  
カフェ  
(福岡市)

▶ 地価前年対比変動率 (全用途)

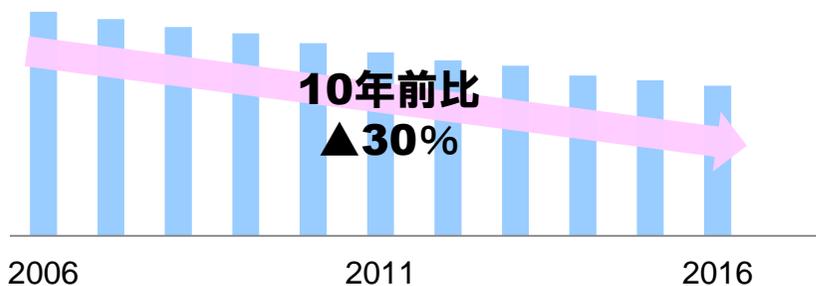


# FFGの成長戦略

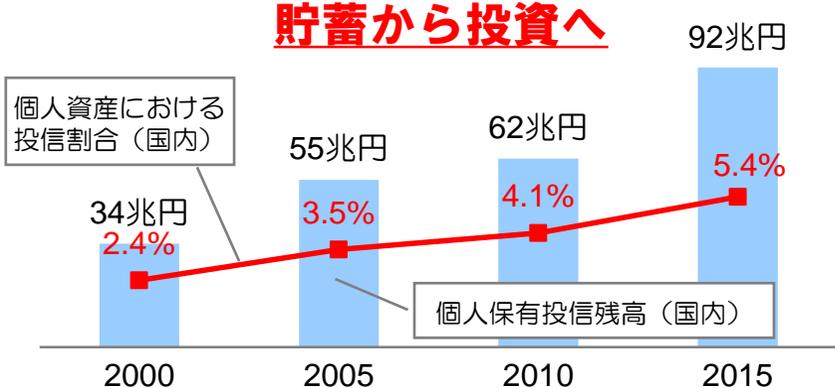
▶ **FFGを取り巻く経営環境は急速に変化。「ザ・ベストリージョナルバンク」の実現に向け、外部環境の変化を先取りした商品・サービスを提供**

## 急速に変化する経営環境

### 窓口来店客数の減少



### 貯蓄から投資へ



### 情報通信技術の発展 / 異業種の参入



## 次の10年「進化のステージ」

長期ビジョン

持続的に高い競争力・成長力を実現する  
**ザ・ベストリージョナルバンク**

基本方針

地域経済発展

好循環  
サイクル

FFG企業価値  
向上

▶ **外部環境の変化を先取りし、お客さまのニーズに合った商品・サービスを提供**

営業戦略

個人のお客さま

- シニア層/富裕層向けサービス
- 資産運用商品
- 個人ローン
- iBank

法人のお客さま

- 創業支援
- 商談会
- ビジネスマッチング
- 事業承継
- 海外展開

# 十八銀行との経営統合の目的と進捗

- ▶ 経営統合のメリットにより、将来に亘る地域金融システムの維持・安定を図ることで、本件統合の理念・目的を実現する

## 経営統合のメリット

スケールメリットを活かした効率化

人員の充実

資本の充実

ネットワーク・ノウハウ・金融機能の充実

人口減少・少子高齢化

低金利環境

将来に亘る地域金融  
システムの維持・安定

円滑な資金供給

顧客利便性の向上

本件統合の理念・目的の実現

地域経済活性化と企業価値向上の同時実現

長崎県内企業の成長への貢献

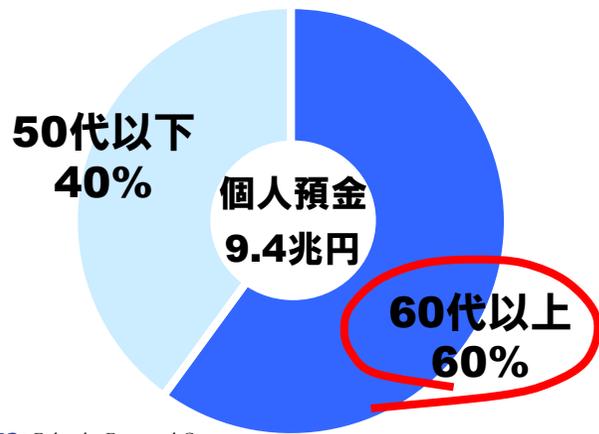
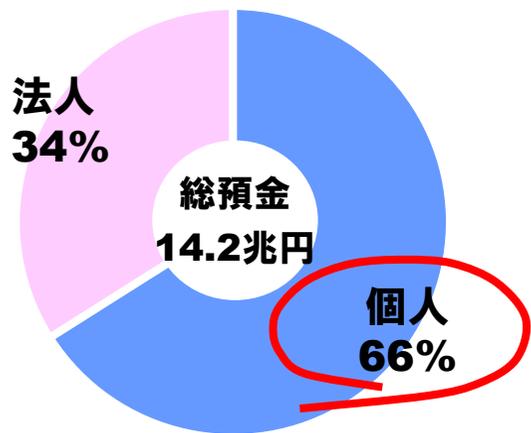
顧客満足度No.1の金融グループ

# 個人向けサービスの展開 シニア層向けサービス

- ▶ FFGがお預りする金融資産のうち6割は「60代以上のシニア層」のお客さまが保有
- ▶ 会員制「グランドマイバンク」「相続関連サービス」など、シニア層向けのサービスを充実

## セグメント別 預金残高

### 個人預金の6割がシニア層



## シニア層向けサービス

グランドマイバンク

会員数 11万人

相続関連サービス

### □入会資格

- ✓ 55歳以上 & マイバンク会員 & 預り資産1,000万円以上

### □会員特典

- ✓ 国内/海外旅行、国内レジャー施設等を特別価格で利用可能



- ✓ 会員様限定の特別商品・サービスの提供
- ✓ 会報誌による旅、趣味に関する情報提供
- ✓ 懇親ゴルフ大会の開催（女子プロも参加！）



### □暦年贈与信託

簡単

確実

便利

- ✓ 今のうちに大切なお金を家族に分けておきたい

### □遺言信託、遺産整理サービス

- ✓ 相続の内容を自分で決めておきたい
- ✓ 相続手続きの負担を軽減したい



# 個人向けサービスの展開 資産運用商品

- ▶ 銀行/証券/保険のグループ一体運営により、お客様のニーズにワンストップで応える体制を構築
- ▶ 「殖やす」「蓄える」「備える」などの多様なニーズに応える充実した商品ラインアップを提供

## 銀-証-保 グループ一体運営

### 多様なニーズにワンストップで対応

銀行  
(FFG3行)

- ✓ 本部トレーナーによる専門人財育成
- ✓ 地銀トップクラスのNISA口座数
- ✓ 保険ショップの新設 (2017年7月)

ふくおか  
証券

- ✓ 株式取引に強み
- ✓ 銀行⇄証券間のネット連携

FFGほけん  
サービス

- ✓ 2016年8月設立
- ✓ 専門人財を配置

## 充実した商品ラインアップ

殖やす

- 投資信託
- 外貨定期
- 株式取引
- NISA/積立投信
- ファンドラップ

蓄える

- 一時払終身保険
- 個人向け国債
- 積立定期 (ためる〜ん)

備える

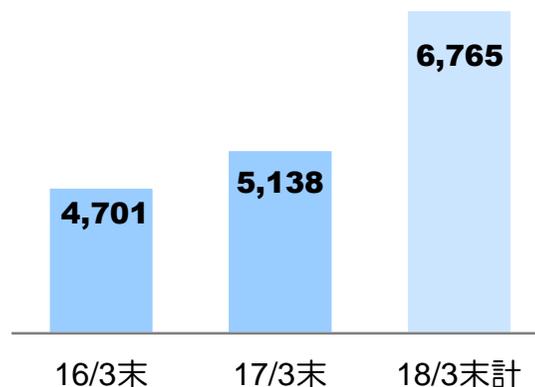
- 個人年金保険
- 医療保険
- 相続サービス
- iDeCo
- 傷害保険

地銀初

NEW

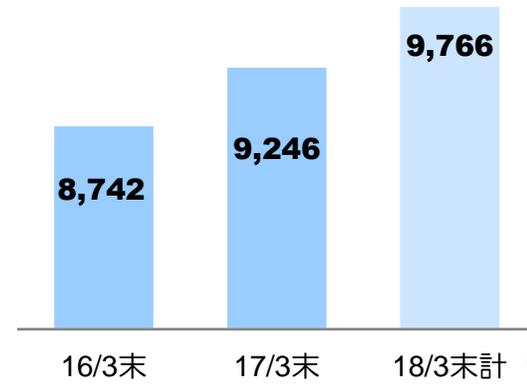
## 投資信託残高の推移

※ふくおか証券含む (単位：億円)



## 保険残高の推移

(単位：億円)



# 個人向けサービスの展開 ローン商品

▶ お客さまの様々なニーズにお応えするために、ライフステージに応じた商品・サービスを提供

## 就職/社会人デビュー

マイカーローン

カメラローン



楽器ローン

ロードバイクローン

## 結婚・出産

ブライダルローン



## マイホーム・子育て

住宅ローン

リフォームローン

学資ローン



## シニアライフ

60代



メディカルローン

▶ 高額医療費の支払

メモリアルローン

▶ お墓の購入費用

空き家解体ローン

地域活性化  
空き家ローン

▶ 空き家の賃貸、購入

50代

40代

30代

20代



# 個人向けサービスの展開 iBankサービス

- ▶ スマートフォンを活用した新しいマネーサービス“iBank”を昨年7月からスタート
- ▶ 足下6月末時点で、18万ダウンロードを突破し、利用者数は極めて順調に推移

お客様で  
**18万DL**  
突破 !!

2016年  
7月  
Debut



**情報コンテンツ**

mym+

2016年  
7月  
Debut



**お金管理アプリ**

Wallet+

2016年  
10月  
Debut



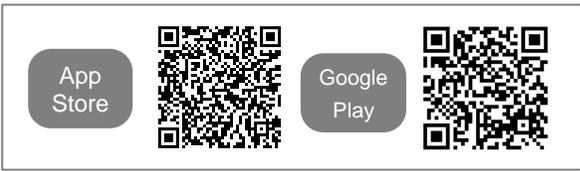
**現金感覚の決済カード**

Debit+

Bank

アプリのダウンロードはこちらから

iBank 検索



# 個人向けサービスの展開 iBankの便利な使い方

▶ 「いつでも、どこでも、自由に、心地よく」利用できる新感覚のスマホサービス

## 収支管理



月々の収支が一目で分かる！

## ちょこっと預金



余った分だけ、ボタン一つでカンタン貯金！

## 目的預金



夢や目的に応じてお金を色分け！毎月積立！

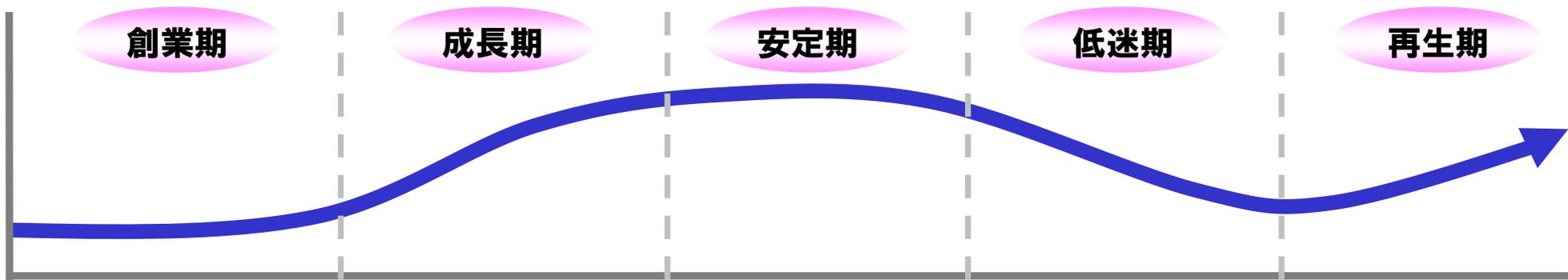
## myクーポン



興味があるクーポンが受け取れる！

# 事業法人向けサービスの展開

▶ 中小企業のお客さまの様々な経営課題やニーズに対して、総合的なコンサルティング機能を発揮し、ご融資はもちろん、経営相談などの最適なソリューションを提供



**成長期・安定期**

- 商談会
- 海外ビジネスサポート
- ビジネスマッチング



くまもと観光物産展



FBC上海ものづくり商談会

# 海外ビジネスサポート

- ▶ アジアに強い海外ネットワークを活かした九州の魅力発信や海外商談会を開催し、お客さまの海外ビジネス拡大をサポート

## 2016大連-地方銀行合同ビジネス商談会 (2016年11月)

### アジア市場への進出をサポート



- ▶ **FFGのお取引先14社が参加**
- ▶ 出展企業数 日本：160社、中国：390社
- ▶ 中国での販路拡大や部材調達先の開拓など、新たなビジネス機会の創出と交流を目的

## FFGヘルスケア商談会 in 台北 (2016年12月)

### 健康・医療・介護がテーマ



- ▶ **FFGのお取引先11社が参加**
- ▶ 高齢化社会を見据えて、台湾内でも関心が高まるヘルスケア産業に焦点を絞り、現地パートナーを発掘

# CSR（企業の社会的責任）活動 ～地域社会の皆さまとともに～

▶ 地域金融グループとしての役割・特性を活かした活動で、地域社会の健全な発展に貢献

## CSR

### 環境共生活動



### アクティブシニア大感謝祭



### 文化芸術活動



## 熊本復興に向けた対応

### 震災復興祈念イベント



### 市街地 清掃ボランティア



### 県産品の斡旋



## FFG10周年記念事業

### 子ども向けスポーツイベント



### FFGホールの無料開放





Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

## Part III

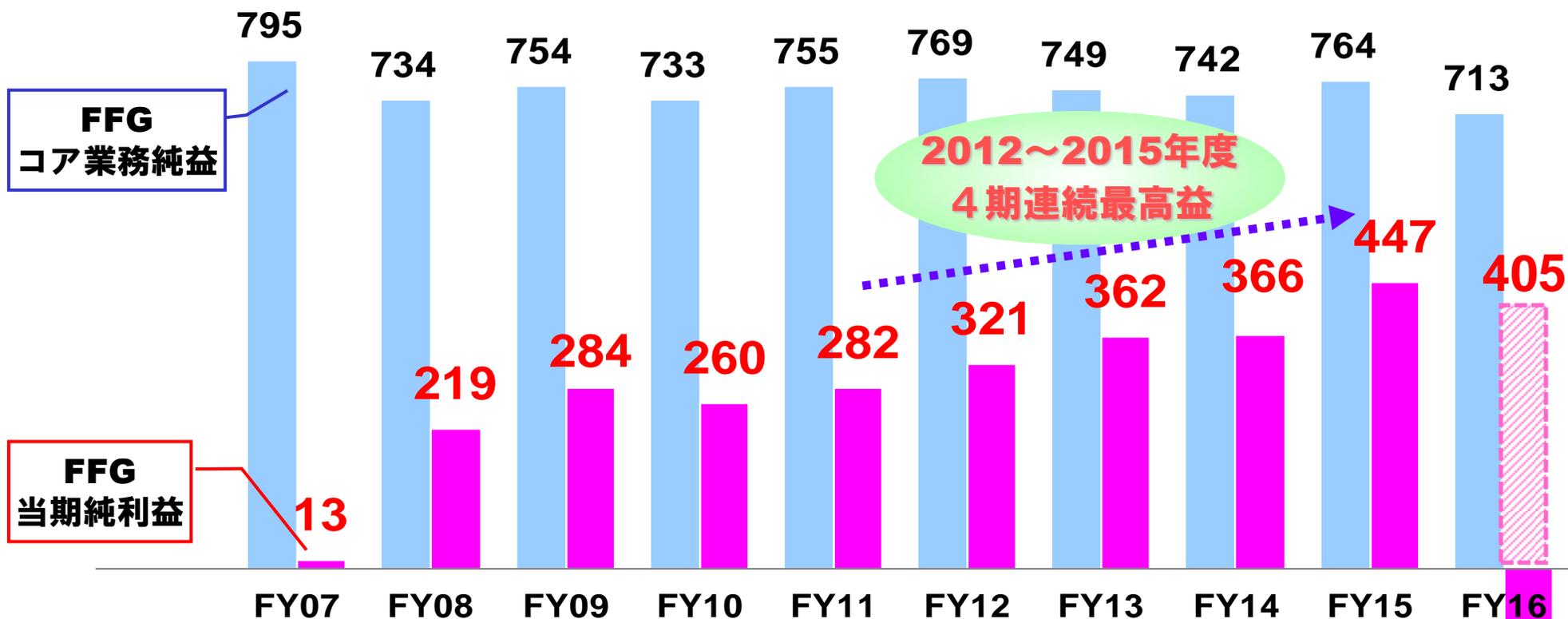
# 業績予想・配当方針

# 業績推移

▶ 経営統合後、超低金利という厳しい環境の下、増益基調で着実に推移

(億円)

コア業務純益は、超低金利という厳しい環境下で横ばい圏を維持



※コア業務純益＝業務粗利益－経費－（一般貸倒引当金繰入額＋債券関係損益）

※コア業務純益：3行単体合算、当期純利益：FFG連結

▲543

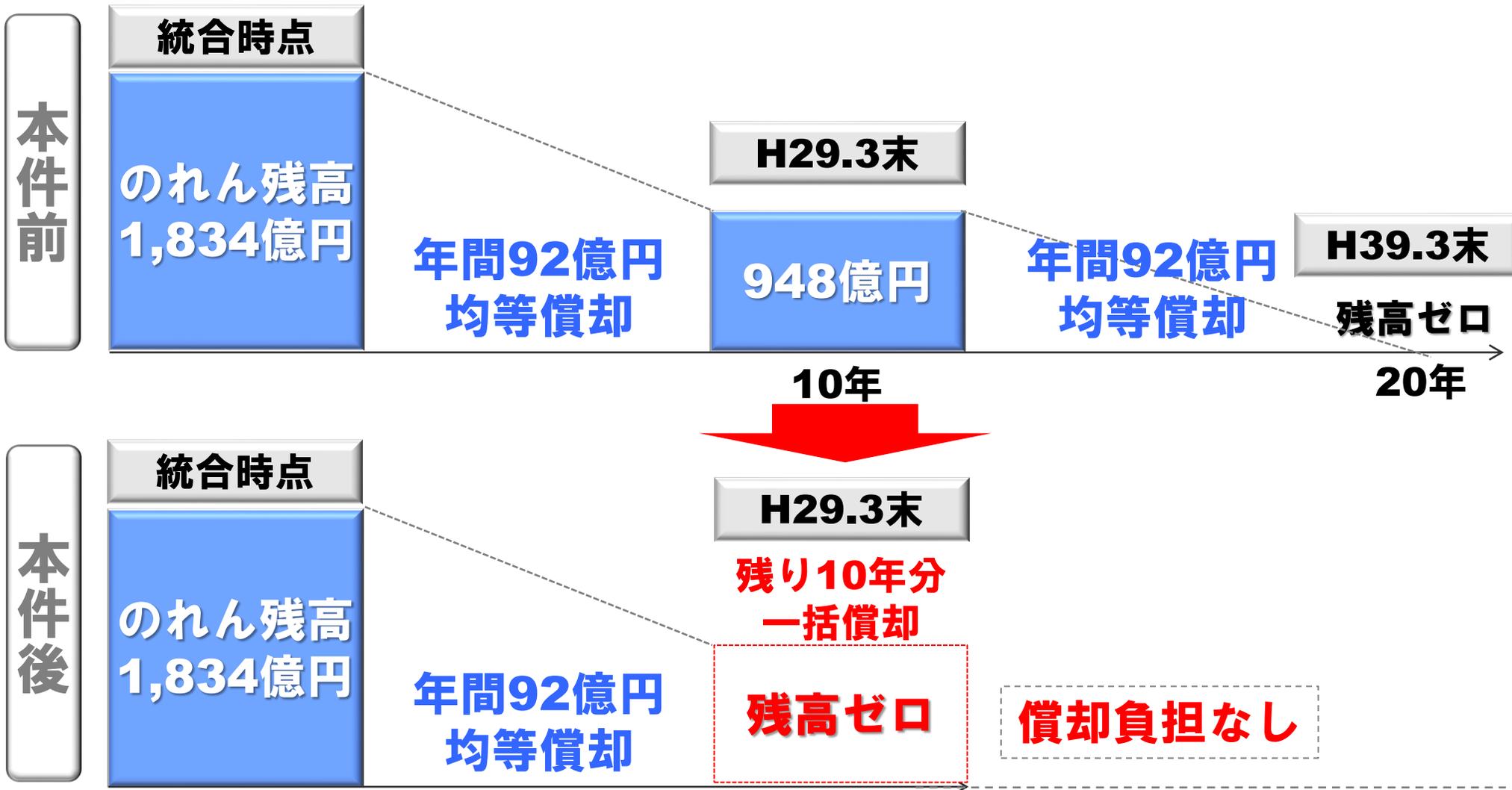
# 2016年度業績

- ▶ 2016年度はコア業務純益713億円、当期純利益は▲543億円
- ▶ のれんの一時償却要因を除けば、計画比プラスの405億円

(億円)	FFG (3行合算)		福岡銀行		熊本銀行		親和銀行	
		計画比		計画比		計画比		計画比
資金利益	1,497	+ 16	1,079	+ 17	177	+ 0	240	▲ 0
非資金利益 (債券売却益を除く)	232	▲ 10	187	▲ 1	14	▲ 1	31	▲ 8
うち 資産運用商品販売	107	▲ 11	68	▲ 4	17	▲ 1	22	▲ 7
経費	▲ 1,015	+ 3	▲ 677	+ 1	▲ 139	+ 2	▲ 199	0
コア業務純益	713	+ 9	589	+ 16	52	+ 1	72	▲ 8
当期純利益	531	+ 0	442	▲ 17	15	+ 12	74	+ 5
FFG連結当期純利益	▲ 543	-						
のれん一時償却除く	405	+ 5						

# のれんの一時償却①

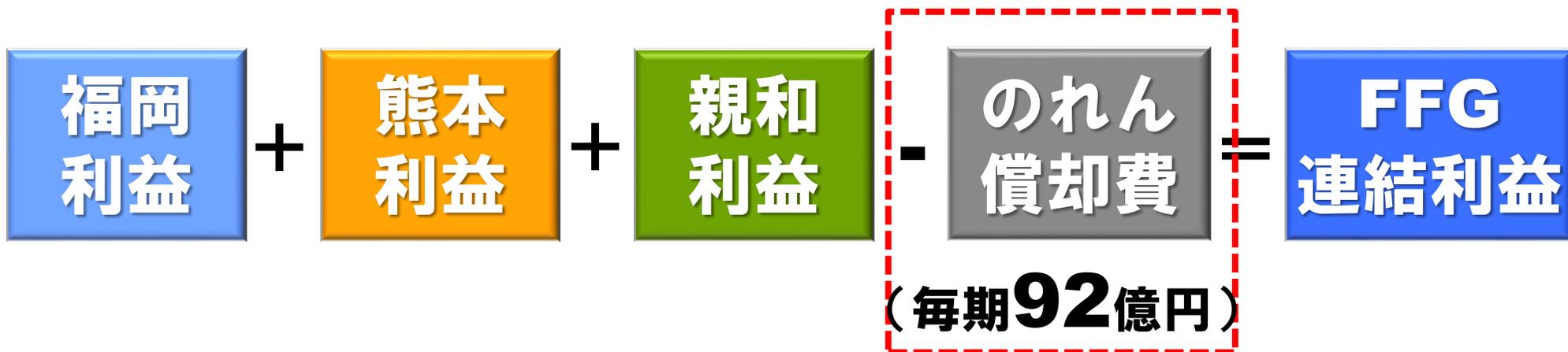
- ▶ 熊本銀行・親和銀行との経営統合時、のれんが1,834億円発生
- ▶ 償却期間20年のうち10年が経過し、平成29年3月末で残り948億円を一括償却



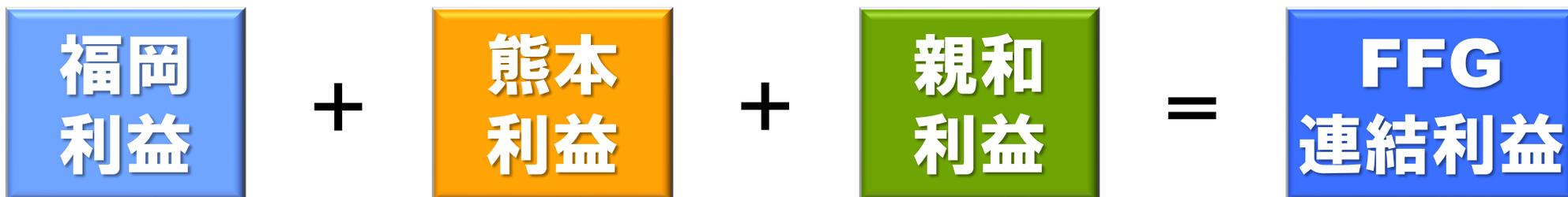
## のれんの一時償却②

- ▶ 毎期発生していた92億円の「のれんの償却費」負担が軽減される

これまで



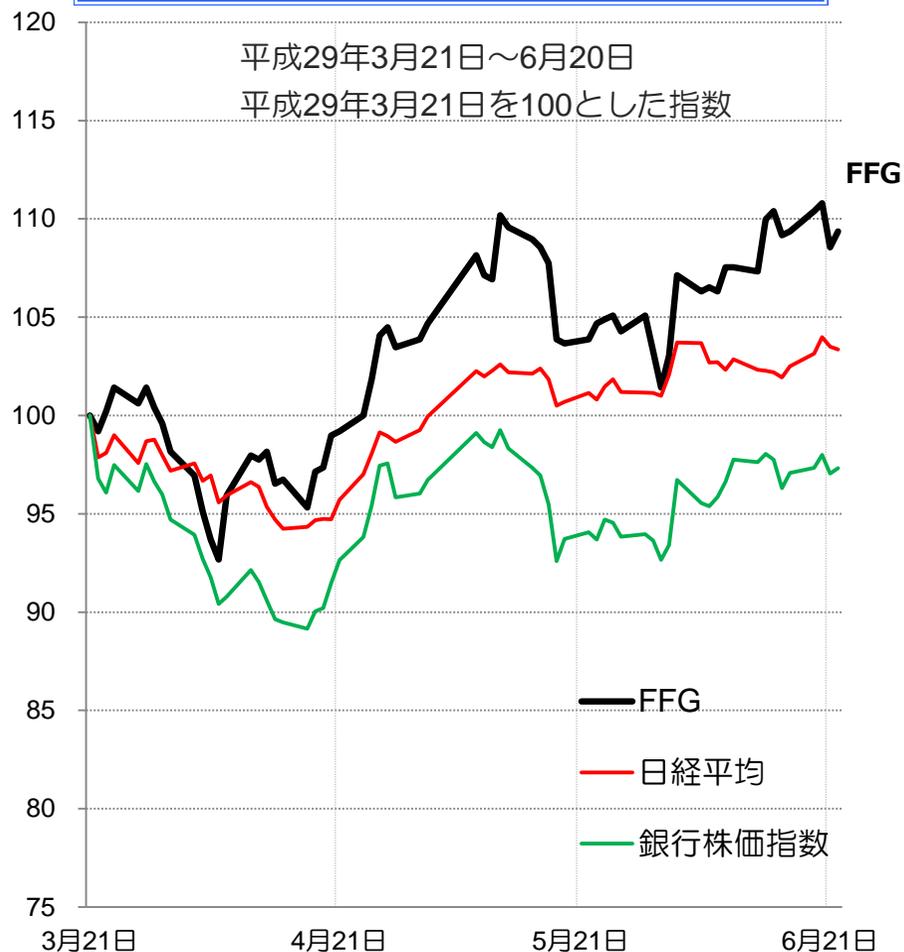
これから



# のれんの一時償却発表後の反応

- ▶ 株価は代表的な株価指数と比較して底堅く推移
- ▶ アナリストからも一定の評価を得ている

## FFG株価推移

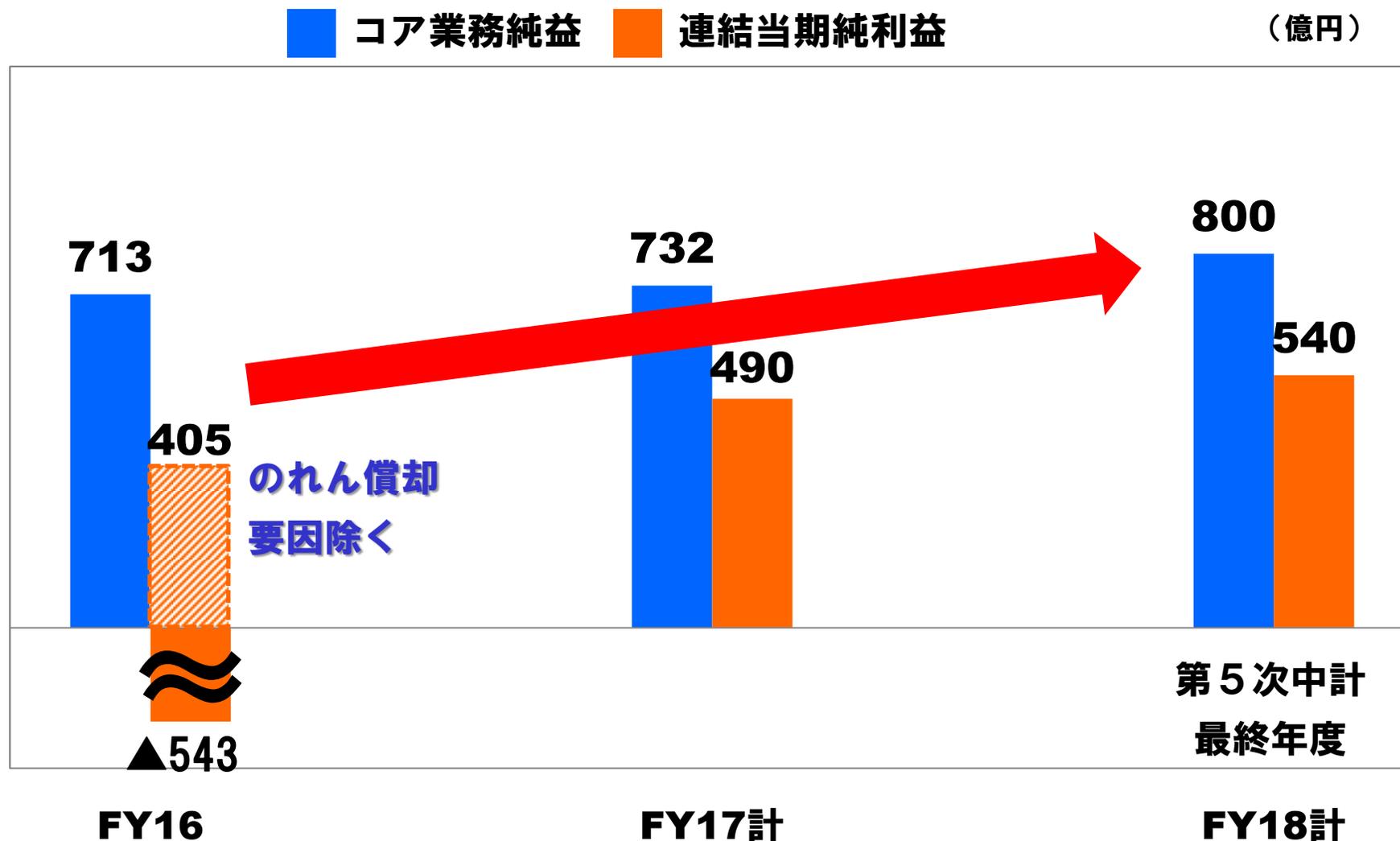


## アナリストコメント

レーティング	備考
↑	● のれんの償却負担がなくなり、来期一株あたり利益の増加がするので、 <b>中長期的にポジティブ</b>
↑	● のれんの償却負担の剥落と現在の株価を考えれば割安と判断
→	● <b>非常にポジティブ</b> ● 堅調なファンダメンタルや配当利回りの高さを勘案すれば割安感は強いと判断
→	● <b>ROEが向上することに加え、のれんの償却負担がなくなることで利益水準も改善、株主還元にもプラスに寄与する可能性がある</b>

# 業績予想

- ▶ 2017年度はコア業務純益732億円、当期純利益は490億円を計画
- ▶ 金利低下の影響を貸出金・役務利益強化によりカバーし、収益力を増強



# 配当方針

- ▶ 業績連動型の配当方式を採用し、安定的な配当継続と業績向上に応じた株主還元を目指す
- ▶ 配当性向30%程度とする配当テーブルを設定、今期は年間15円配当を予想

## 配当方針

- ▶ 配当は業績連動方式を採用
  - ▶ 配当性向を30%程度とするテーブルを設定
- 【配当金目安テーブル】

FFG連結当期純利益	配当金目安	配当性向
500億円以上～	17円	～29%
450～500億円	15円	26～29%
400～450億円	13円	25～28%
350～400億円	12円	26～30%
300～350億円	11円	27～32%
250～300億円	10円	29～34%
200～250億円	9円	31～39%
150～200億円	8円	34～46%
～150億円	7円	40%～

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益を指します

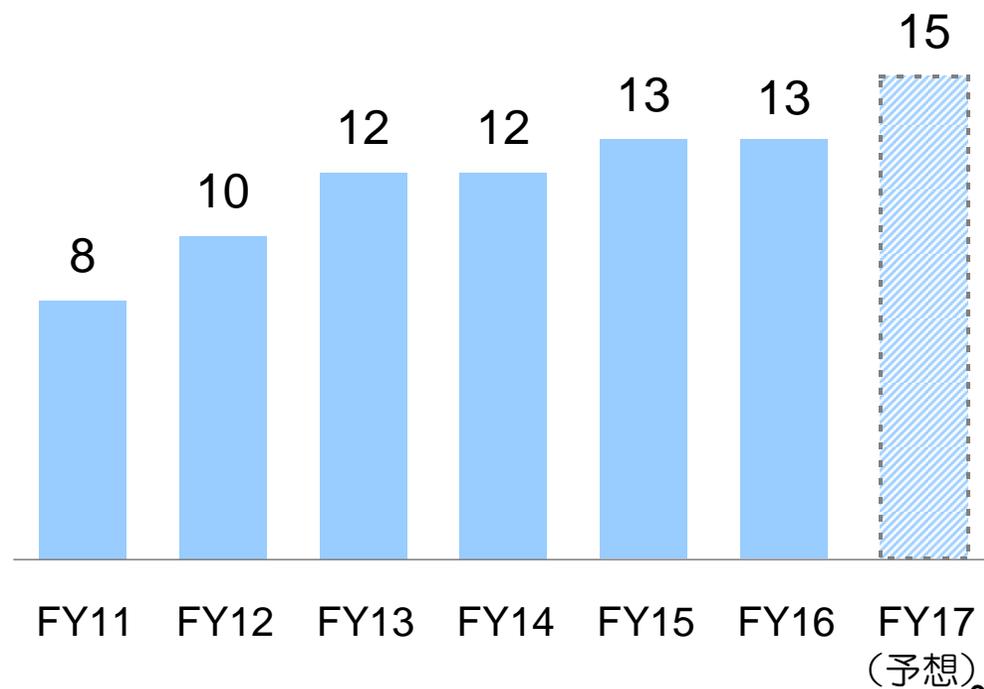
## 配当実績・予想

参考

(普通株、円)

**2017年度年間配当金(予想) : 15円**  
**配当利回り(予想) : 2.8%**

※2017年6月末株価ベース



# 株主優待

- ▶ 株主の皆さまのご支援に感謝するとともに、当社株式の魅力を高め、中長期的に保有いただけるよう、株主優待制度を導入

## 対象となる株主さま

毎年3月31日現在で、**1,000株以上**をお持ちの株主さまのうち、**1年以上継続して保有**されている株主さま

## 優待券



## メニュー概要

### 5つのメニューから、おひとつ

① 定期預金	金利を年 <b>0.3%</b> 上乘せ 預入期間：6ヶ月、預入限度額：300万円 ※優待券1枚あたり
② 投資信託	購入手数料の <b>50%</b> をキャッシュバック ※上限5万円
③ ふくおか証券でのお取引 (株式・投信)	株式売買手数料 } <b>50%</b> をキャッシュバック 投信購入手数料 } ※上限5万円
④ 相続関連サービス	ご契約時にギフト券をプレゼント
<b>NEW</b> ⑤ 「Debit+」ポイントバック	3,000円相当のポイント「myCoin」プレゼント



Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

## Part IV

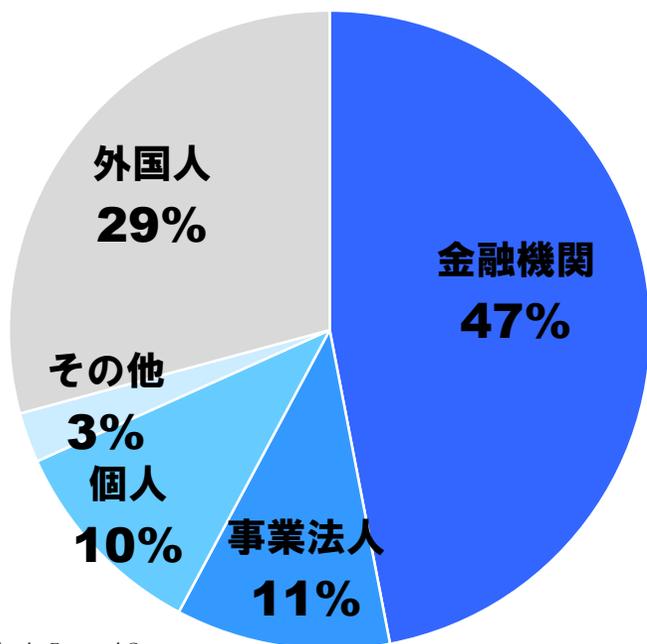
# 参考資料

# 株式データ

## ■ 株式情報

	普通株式
授權株式数	1,800,000,000
発行済株式数	859,761,868
株主数	18,437

## ■ 株主構成（普通株式）※株数ベース



## ■ 大株主

(2017年3月末現在)

(単位：千株、%)

上位株主	所有株数	比率
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口）	56,534	6.57
日本マスタートラスト信託銀行（信託口）	52,929	6.15
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口9）	27,366	3.18
日本生命保険	17,722	2.06
明治安田生命保険	17,719	2.06
住友生命保険	17,419	2.02
第一生命保険	17,315	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口5）	14,709	1.71
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口4）	12,613	1.46
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	11,819	1.37

※比率は発行済株式総数に対する割合

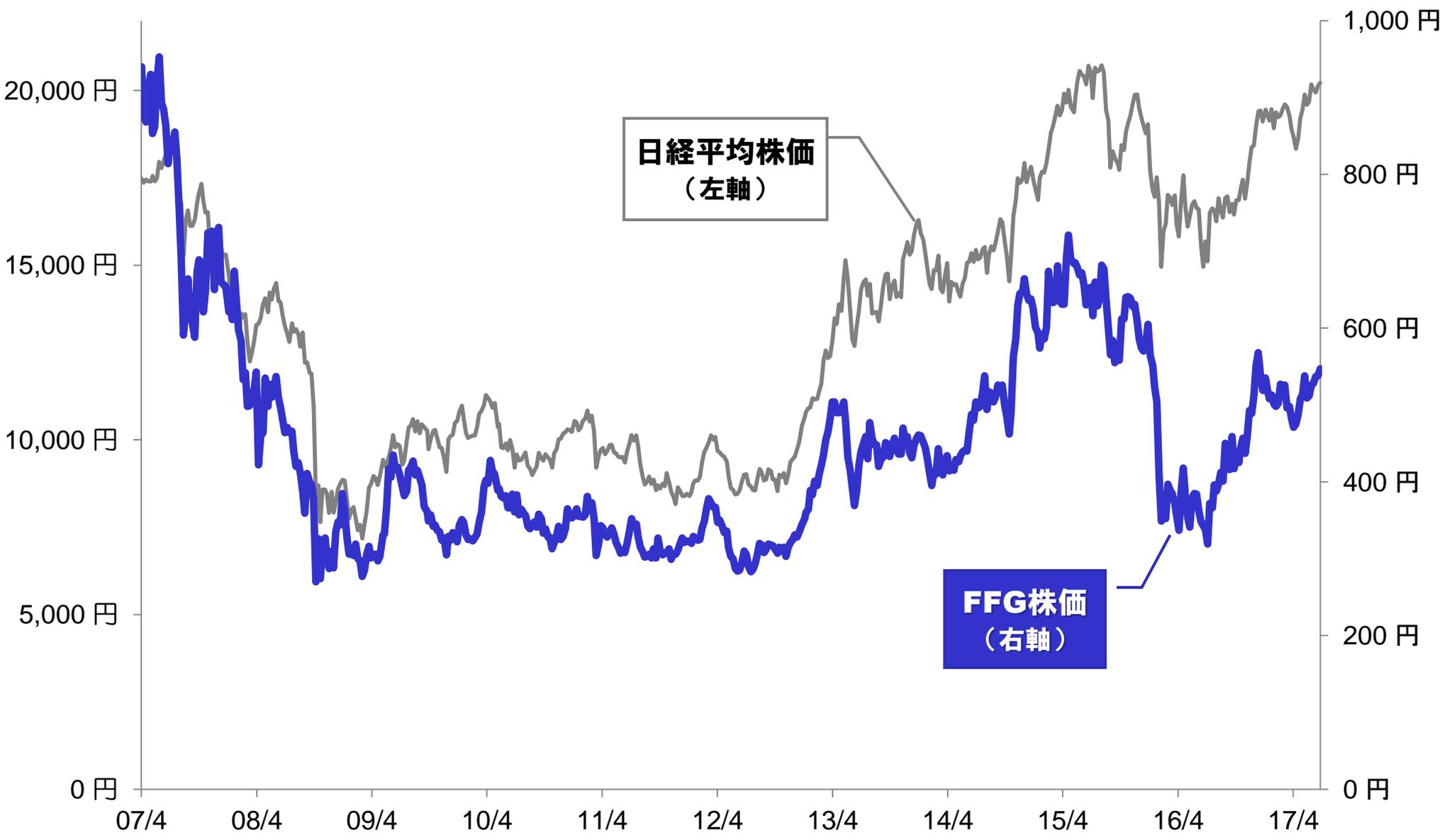
## ■ 株式指標

(単位：円)

	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16
<b>EPS</b>	32.82	29.94	32.62	37.01	41.82	42.29	51.75	▲63.22
<b>BPS</b>	645	658	712	774	798	865	902	829
<b>ROE</b>	5.3%	4.6%	4.7%	4.9%	5.2%	5.1%	5.8%	▲7.3%
								※のれん一時償却除くベース 5.1%

※のれん一時償却除くベース

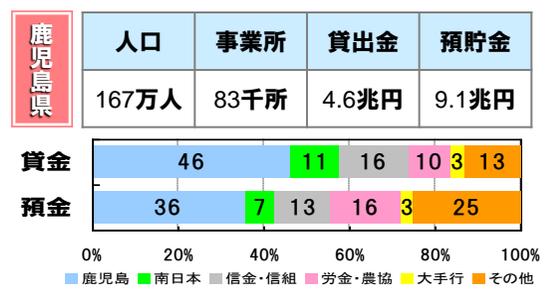
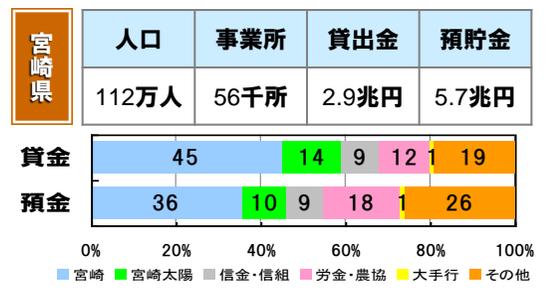
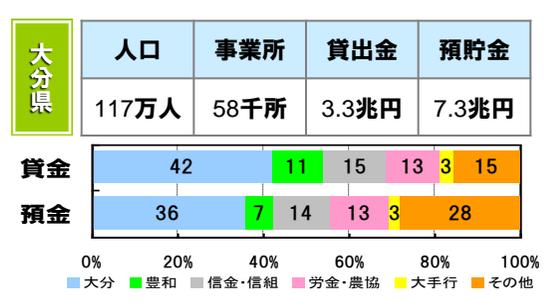
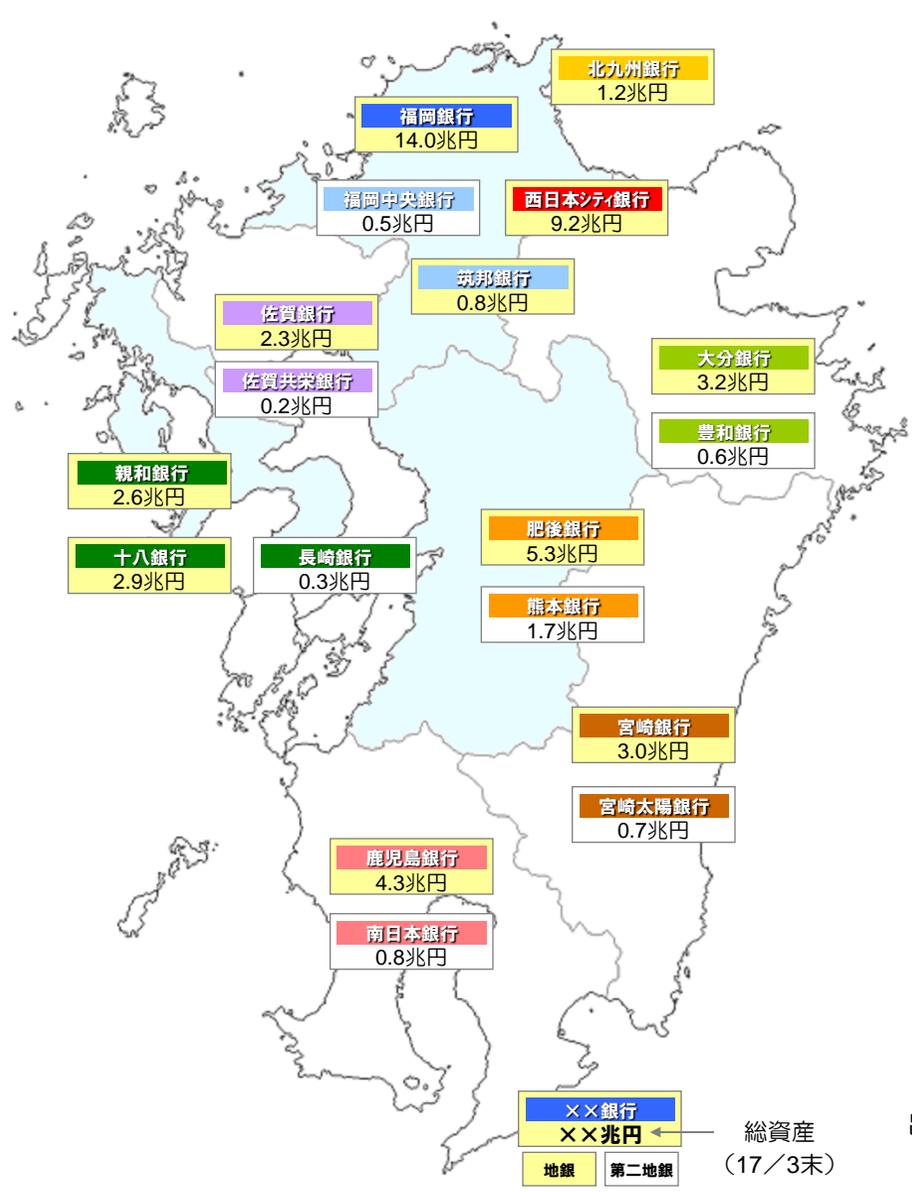
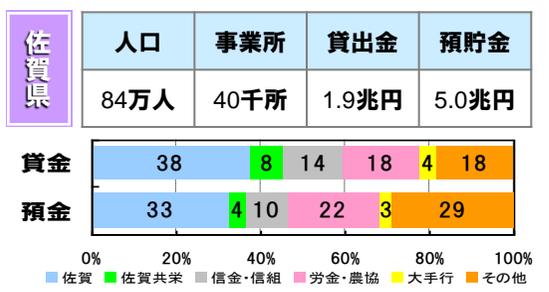
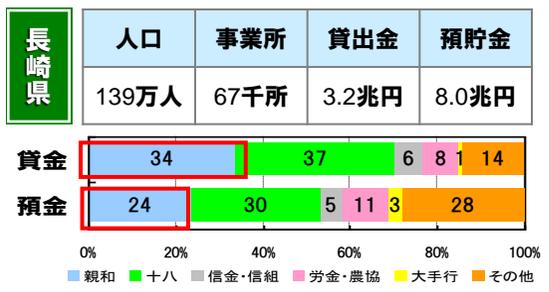
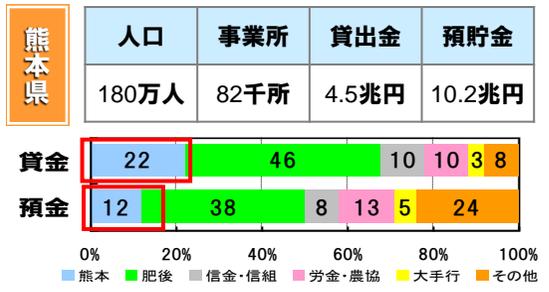
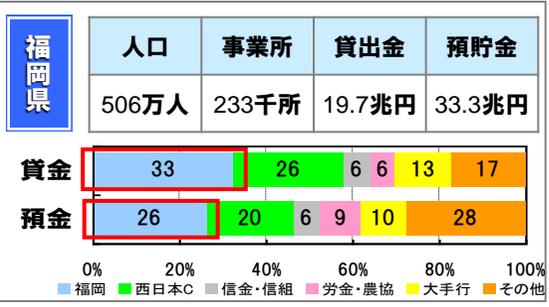
# 株価動向



日経平均株価  
(左軸)

FFG株価  
(右軸)

# 金融マーケット



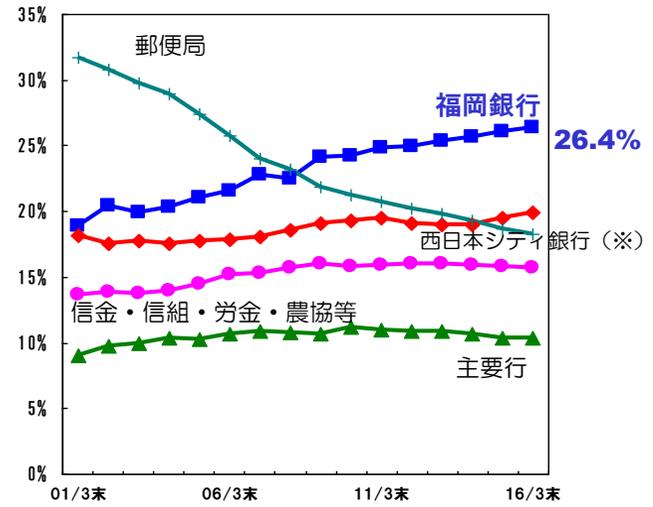
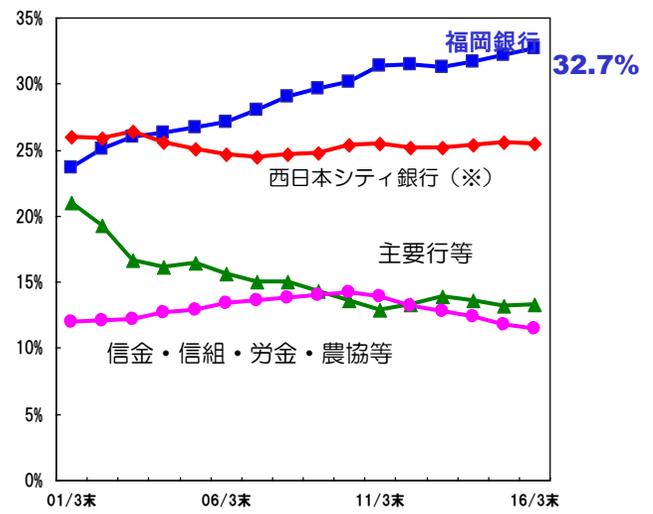
出所：月刊金融ジャーナル増刊号  
「金融マップ2017年版」  
総務省「26年経済センサス」(事業所数)

# マーケットシェア

貸出金

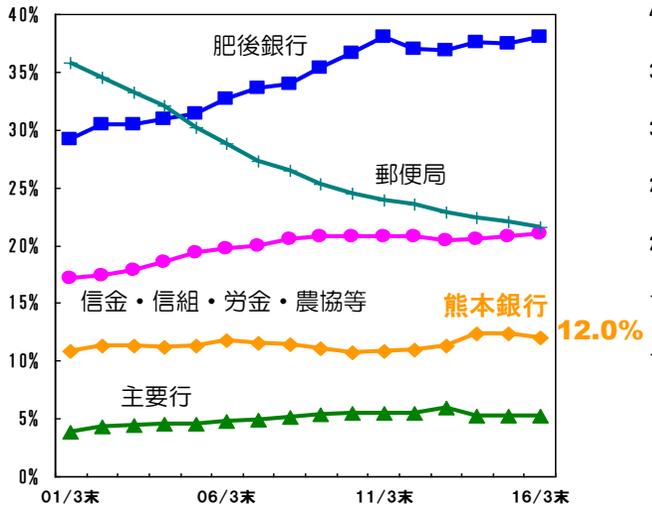
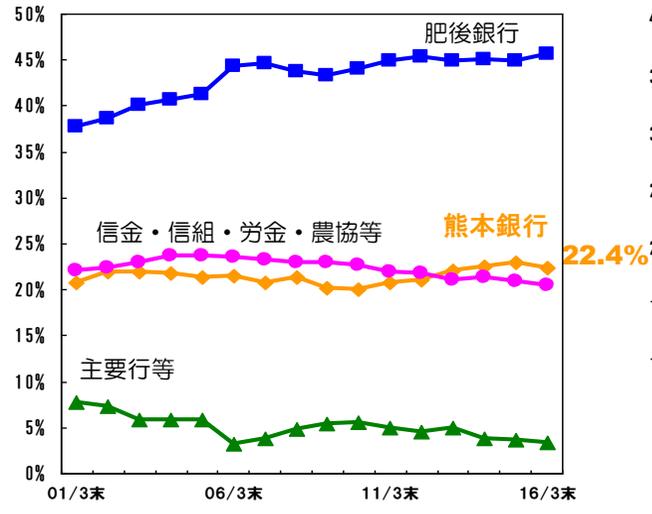
預金

## 福岡県

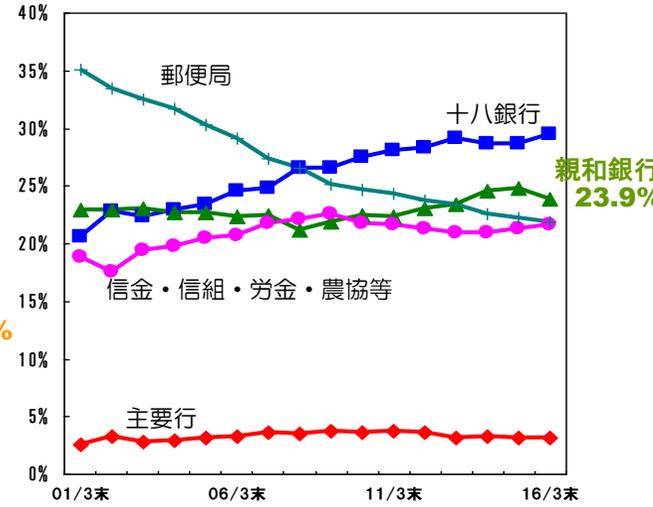
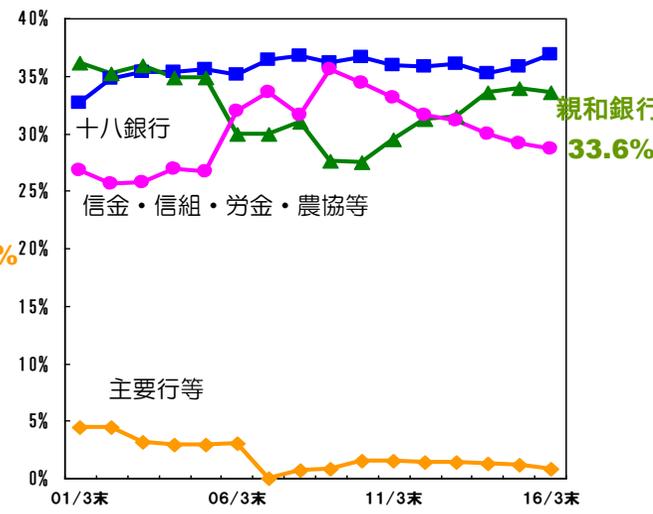


※ 統合前の西日本シティ銀行は西日本銀行と福岡シティ銀行の合計

## 熊本県



## 長崎県



出所：金融ジャーナル（一部推計値を含む）

# 2017年度 業績予想

## 損益（3行単体合算）

(億円)

	3行単体合算		福岡銀行（単体）		熊本銀行（単体）		親和銀行（単体）	
	通期計画	前年比	通期計画	前年比	通期計画	前年比	通期計画	前年比
業務粗利益	1,794	40	1,314	19	196	6	283	15
資金利益	1,498	2	1,082	3	176	▲2	240	0
国内部門	1,434	5	1,019	6	175	▲1	239	1
国際部門	64	▲4	63	▲3	0	▲0	1	▲1
非資金利益	296	39	232	16	21	8	43	15
役務等利益	239	45	178	27	20	6	41	12
特定・その他利益（債券除く）	27	▲11	24	▲12	1	0	2	1
債券関係	30	5	30	1	▲0	1	▲0	3
経費（△）	1,032	17	685	9	140	1	207	7
実質業務純益	762	23	629	10	56	5	77	8
コア業務純益	732	18	599	10	56	4	77	5
経常利益	715	▲7	607	6	44	17	64	▲30
当期純利益	514	▲17	431	▲10	33	18	50	▲25
信用コスト（△）	50	66	35	39	8	▲12	8	39

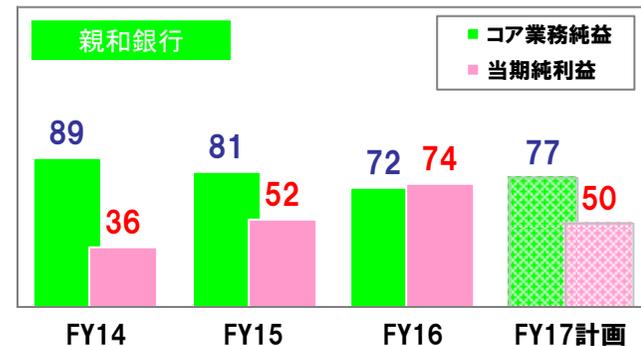
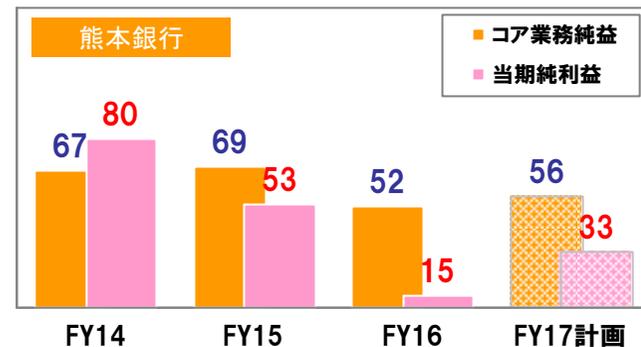
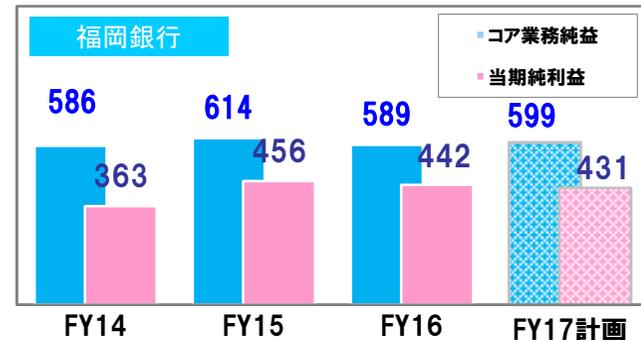
## 損益（FFG連結）

	通期計画	前年比
業務粗利益	1,935	56
実質業務純益	773	1,087
コア業務純益	744	1,082
経常利益	700	1,044
連結当期純利益（※）	490	1,033

連結調整

当期純利益（3行単体合算）	
3行単体合算	514
FFG単体	▲62
のれん償却費	0
銀行子会社損益	41
その他連結調整	▲2
FFG連結当期純利益	490

## 【銀行別】 損益推移（億円）



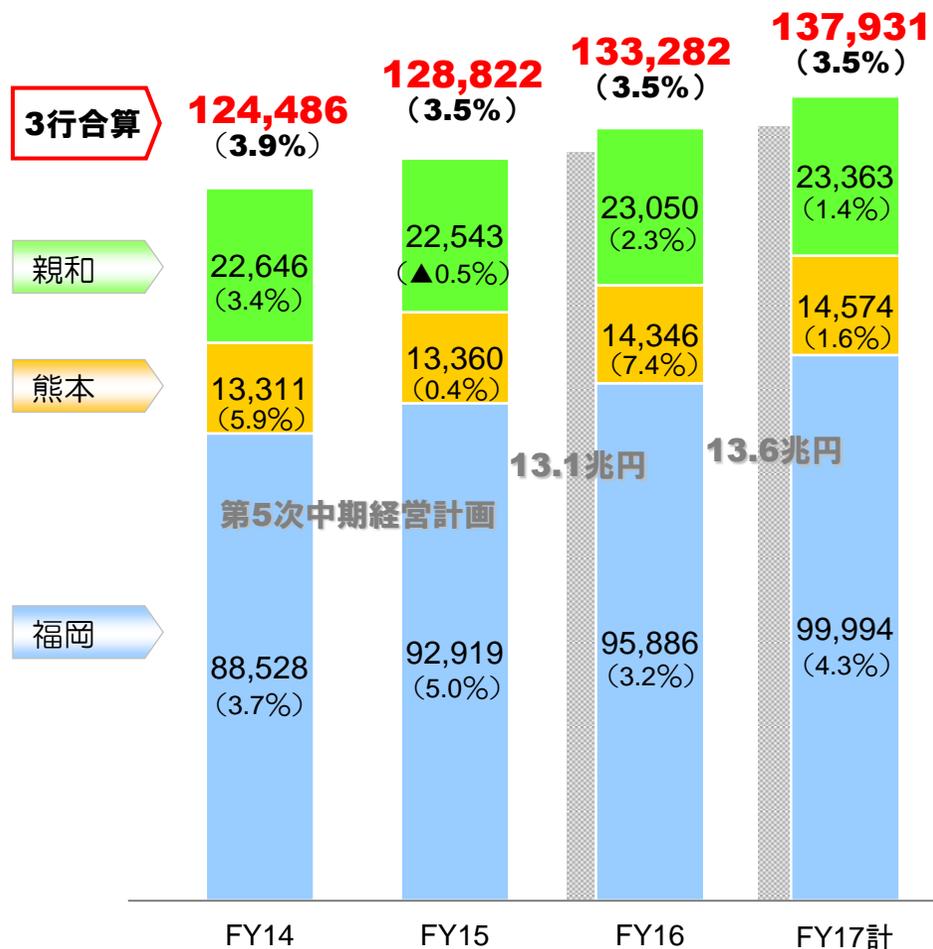
(※) 親会社株主に帰属する当期純利益を指します

# 総資金（預金+NCD）

## 総資金（国内+国際）

( ) 内は年率

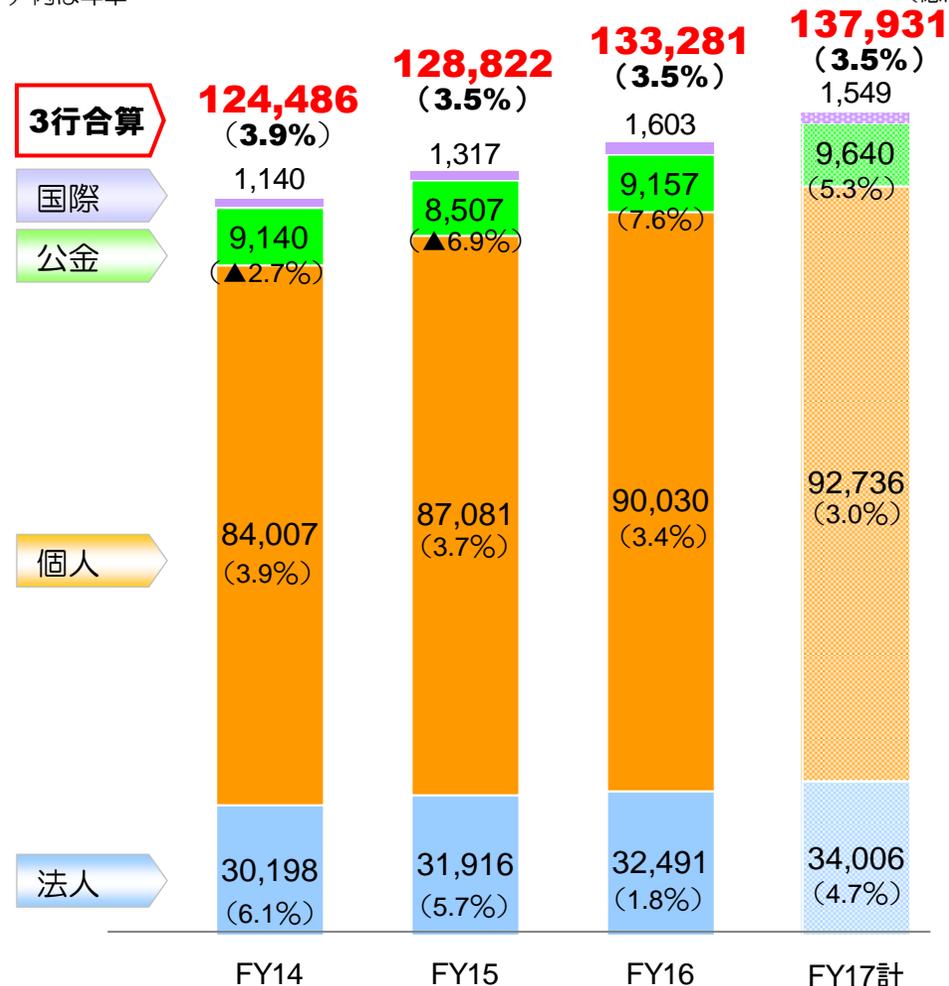
(億円)



## 総資金（セグメント別）

( ) 内は年率

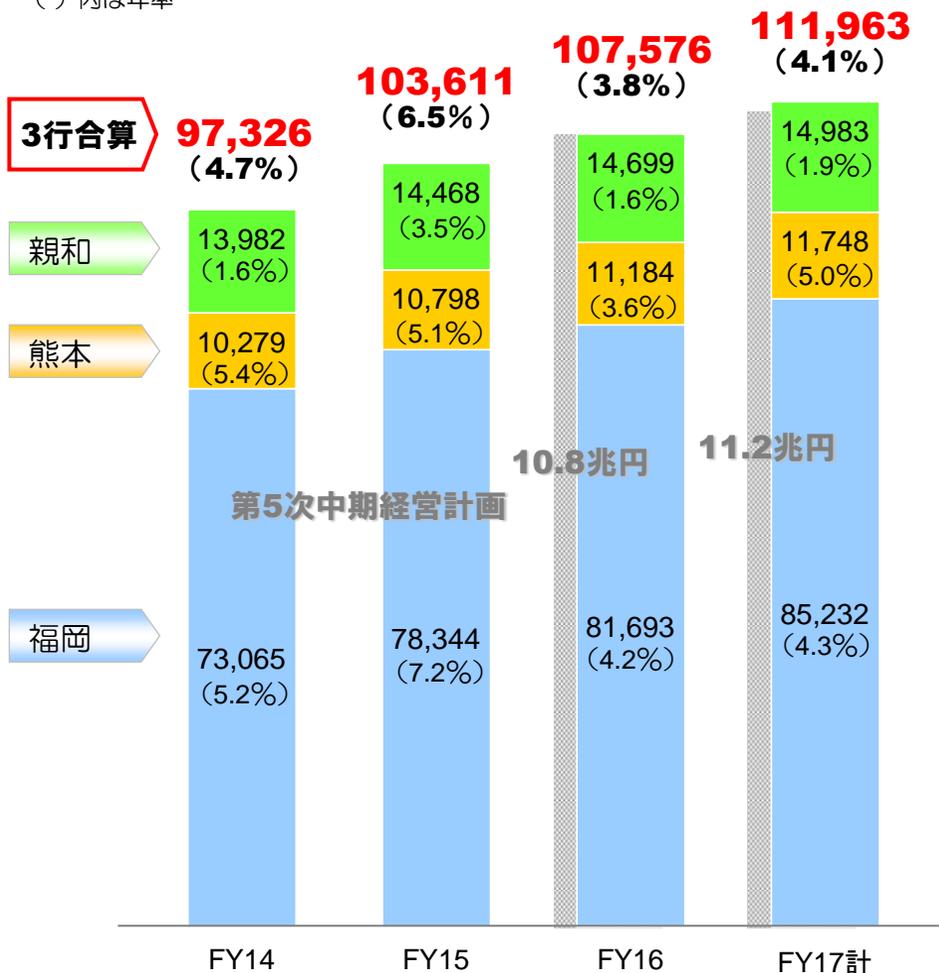
(億円)



# 総貸出金

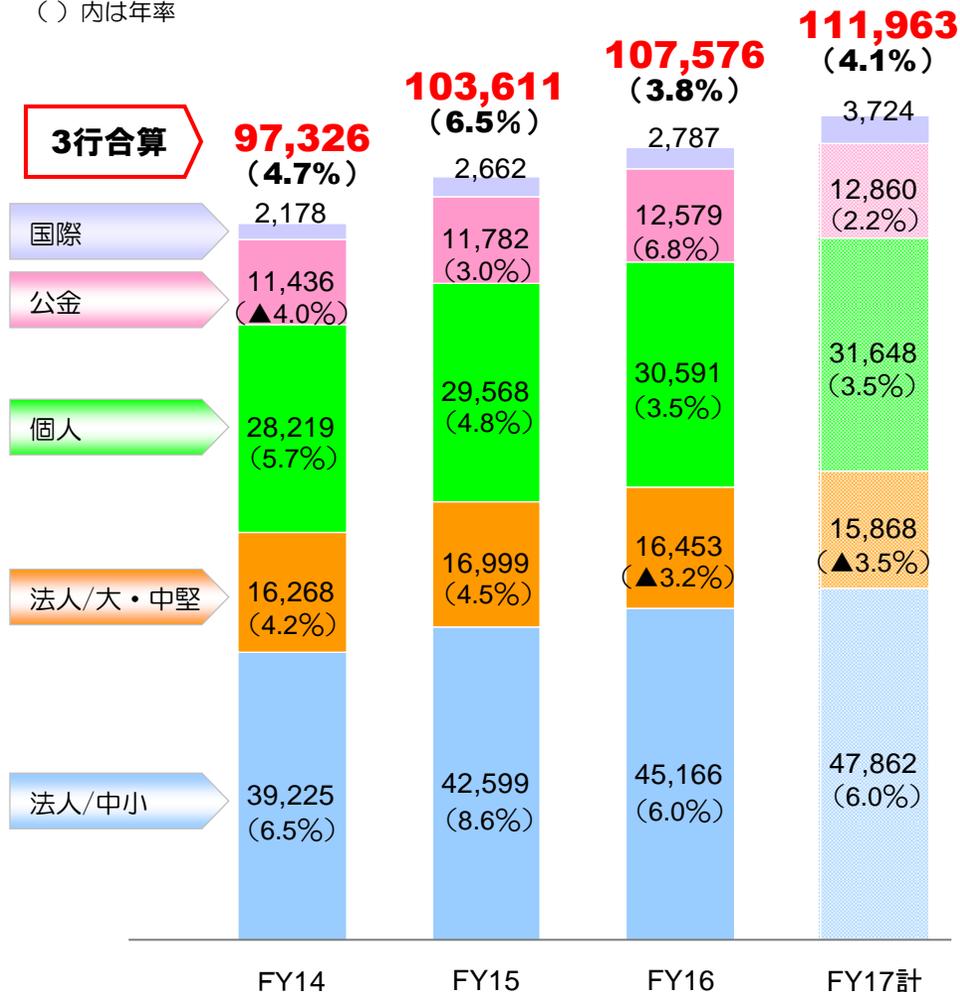
## 総貸出金（国内+国際）

※FFG向け・政府向け貸出金を除く (億円)  
 ( ) 内は年率



## 総貸出金（セグメント別）

※FFG向け・政府向け貸出金を除く (億円)  
 ( ) 内は年率





## <照会先>

**株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ**  
**経営企画部 広報グループ**

- 電話 : 092-723-2255
- E-mail : [ffg-ir@fukuoka-fg.com](mailto:ffg-ir@fukuoka-fg.com)
- H P : <http://www.fukuoka-fg.com>

- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料に記述されている将来の業績予想等につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。
- なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。